

## 事業計画書

事業名	天来書学普及事業(天来自然公園案内標識設置及び公園内道路整備)		
実施箇所	佐久市協和7686-2		
実施期間	事業開始予定年月日	平成24年	6月 1日
	事業終了予定年月日	平成25年	3月31日
事業概要	事業概要	ソフト / ○ハード / ソフト・ハード	
	<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>佐久市望月地区は近代書道を拓いた比田井天来生誕の地で、地区内には佐久市立天来記念館があり、天来の書を刻んだ石碑も散在している。NPO法人未来工房もちづきでは平成18年比田井天来生家の裏山に天来自然公園の建設を企画し、その第1歩として9本の石碑を建立した。平成20年には現代書家揮毫による「筆塚」も建立した。その後、未来工房では植林・間伐・草刈など山林の管理、公園の運営を担っている。全国の書家、書研究者、書愛好家がここを訪れている。ところが、この公園に行く道順が分からないという問い合わせも多い。この公園を訪れるための案内標識及び地図付案内板を設置し、来園者に対し、より親切な公園にしていきたい。また、車が入れる道を整備し、高齢者や障害者など足が不自由な人たちも気軽に訪れることが出来る公園にしたい。</p>		
	<p>&lt;事業の内容&gt;</p> <p>①望月地区内に、天来自然公園に行くための案内標識と道路地図を記載した案内板を設置する。</p> <p style="margin-left: 20px;">案内標識 30cm×80cm 10基</p> <p style="margin-left: 20px;">道路地図を記載した案内板 100cm×150cm 1基</p> <p>②高齢者・障害者のために自動車の入れる道路20mを舗装する。</p>		
	<p>&lt;事業の効果・アピールポイント&gt;</p> <p>書は習うことも大切だが、書作品を鑑賞することも大切である。すばらしい書を鑑賞することを通して、書の文化が全国に広まっていくことを期待している。佐久市から、書鑑賞の楽しさを発信し、全国に誇れる「書の街づくり」を進めたい。書の里にふさわしい案内標識と地図付案内板の設置は、来園者の便宜と鑑賞に大いに役立つものとなる。</p>		
	<p>&lt;事業における市の役割分担&gt;</p> <p>案内標識等を設置する場所は、公用地のことも多い。県または市の道路用地であった場合、その許可が必要になるが、市当局で便宜を図ってくださることをお願いしたい。</p>		